

評価年度	令和 7 年度
担当課所	こども課

【基本情報】

事業名称	若者の宅地確保売主応援キャンペーン
------	-------------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	23	02	01	05	74	若者の宅地確保売主応援キャンペーン

事業期間	令和6年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,000	1,500	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	申請件数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 5	(目標値) 5	(目標値) 5	(目標値) 0	(目標値) 0
実績値	(実績値) 3	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	60.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	2	1	1	1
二次評価	3	2	2	1	1

事業の実施理由	昨年申請件数が3件であり、今年度は0件である。
---------	-------------------------

事業の概要	子育て世帯が自ら居住する土地を取得するために必要な土地の売主に対して奨励金を交付する。
-------	---

事業の課題	昨年申請件数が3件であり、今年度は0件である。
-------	-------------------------

今後の方針	昨年より実施している3年間限定の新規事業であるため、申請件数を増やすためにも引き続き町民へ周知していく。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
7	前年が3件で今年度はまだ申請がない状況である。本来であれば来年度は実施しない方向性であるべきだが、当初より3年間限定のキャンペーンと告知しているため、申請件数にかかわらず、来年も同内容で実施していく。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
9	期間を3年に限定している。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	1	【コメント】
1…事業自体見直し	1	4…現状維持	3	<ul style="list-style-type: none"> ・リフォームなどへ補助。 ・3年間限定とありますが申請件数が少ないなら見直しをした方が良いのでは。 ・制度認知度向上を望む。特に買い手側(婚姻届出者、母子手帳受領者、移住検討者、結婚相談者、県町住宅希望者など)へのPR。 ・名称が売主応援で売主に奨励金を交付しても、子育て世代にアピール度であり効果的とはいえないのではないか。
2…事業内容見直し	2	5…事業拡大	0	
外部評価結果 事業の見直し (制度の認知向上や実績等を踏まえ事業内容を見直す)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
3年間限定で実施。	① 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	当初の予定通り、3年間限定で実施する。その後については申請件数が少ないため廃止予定である。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	移住定住推進室

【基本情報】

事業名称	移住促進事業費
------	---------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくとも輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	49	2	1	5	48	移住促進事業費

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,185	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	移住相談件数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 70	(目標値) 75	(目標値) 80	(目標値) 80	(目標値) 80
実績値	(実績値) 82	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	117.1%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	5	3	5	4
二次評価	5	5	4	5	4

事業の実施理由	移住者の増加を目指し、移住希望者に対して移住相談できる人材の確保・育成を図るため。
---------	---

事業の概要	移住促進事業を行うにあたっての事務経費及び移住支援コーディネーターの委託料
-------	---------------------------------------

事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> 町自体の認知度が低く、相談件数が伸び悩んでいる。 移住促進を目的としたイベント開催が、関係人口につながっていない。
-------	--

今後の方針	町の認知度を高めるため、地域内団体やイベントと連携し、SNS等を活用したプッシュ型広告宣伝などを行い、新規の認知を獲得するとともに、年間を通して交流イベントを設けて告知することで、再来訪しやすい仕組みを作ることで、関係人口から移住への流れを創出する。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
21	移住促進事業費の予算措置内容としては現状を維持し、事業内容は地域おこし協力隊事業と連携しながら、今後の方針に沿って運用で改善する。	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
23	空き家相談件数は年々増加しており、移住の効果も出てきている。引き続き空き家所有者へのアンケートや意向調査など、空き家の利活用を進めていく。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	2	【コメント】
1…事業自体見直し	1	4…現状維持	3	・SNS等のPRは当課だけでなく、町全体でPRイメージアップしていくべき。 ・秩父市よりたくさんのメリットを生みだせれば移住者の増加がみられると思います。 ・Facebook、エックス、インスタグラム、ティックトック、YouTube、町ホームページなどに、小鹿野町応援タレントや、おがニャピーを出演させた「町の紹介や移住促進のビデオ」をさらに増やしたらどうか。
2…事業内容見直し	1	5…事業拡大	0	
外部評価結果 事業の見直し (事業の積極的なPR活動を推進し事業の統合含め検討する)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	SNSでの情報発信や町移住ポータルページを引き続き拡充・魅力化し、当町を知らない層に積極的に情報を届けます。 SNSの情報発信は、媒体ごとに適切な運用方法を検討して参ります。 また、デジタルコンテンツのみで無く、実際に当町に足を運んでいただくきっかけとなる、イベントや都内でのセミナー開催も併せて拡充し、デジタル・リアルとの相乗効果により、早期に実績につながる運営を行います。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	お試し住宅住宅管理事業費
------	--------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	52	02	01	05	55	お試し居住住宅管理事業費

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	547	452	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	お試し住宅利用者件数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 20	(目標値) 25	(目標値) 25	(目標値) 25	(目標値) 25
実績値	(実績値) 22	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	110.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	3	3	5	4
二次評価	4	3	4	5	4

事業の実施理由	移住する前に小鹿野の文化などを感じていただき、移住後のミスマッチを防ぐ。
---------	--------------------------------------

事業の概要	町への移住を検討している方に対して、町の暮らしを体験してもらうため、町営住宅松坂団地内にある医師住宅を活用し、お試し居住事業を行う。 【必要経費】 消耗品費、光熱水費、清掃委託費等
-------	--

事業の課題	観光目的の方の利用を防止するスクリーニングすると、利用ハードルが上がってしまうため、バランスを取ることが難しい。
-------	--

今後の方針	利用率を注視しながら、運用面でスクリーニングを強弱し、ちょうどいいバランスを探る。また、お試し地域おこし協力隊やふるさとワー
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
18	次年度以降、利用者目標の達成と観光利用のバランスを取りながら 広告し、他事業との連携を図りながら目標達成を目指す。	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
20	複数回の利用をする方もいることから、そういった方の移住への本気 度の見極め、利用回数制限等の検討も必要かと考えている。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	1	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	2	・観光目的の利用者が多くお試し居住住宅を 一時休止している秩父市のように、「観光目 的は禁止」とまではいかないまでも、二次評 価にあるように「移住の本気度」向上が図れる よう検討をお願いします。
2…事業内容見直し	4	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
事業の見直し (移住に直結するための利用目的を明確にしていく)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
利用者の選び方(選定基準)を明確にする。	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	宿泊者に、公式移住LINEの登録及び担当者の アテンド付き移住ツアー参加を引き続き必 須とすることで、目的外利用者の利用の防止 に努めます。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	移住就業支援金事業費
------	------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	53	02	01	05	57	移住就業支援金事業費

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	2,325	1,875	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	775	625	0	0	0

補助事業名	移住就業等支援金支給事業
-------	--------------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	移住相談件数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 70	(目標値) 75	(目標値) 80	(目標値) 80	(目標値) 80
実績値	(実績値) 82	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	117.1%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	3	3	5	3
二次評価	3	3	3	5	3

事業の実施理由	国制度であり、全国一律で実施しているもの 当町のみ実施しないことがデメリットとなるため
---------	--

事業の概要	国の制度に基づくH31年度からの継続事業 UIターンでの就業者や関係人口等に関する要件を満たした東京検討からの移住者に助成する事業
-------	--

事業の課題	移住支援金を活用する際のマッチングサイト登録企業数が少ない。
-------	--------------------------------

今後の方針	マッチングサイト登録企業を増加させるため、西秩父商工会等に周知活動を行う。
-------	---------------------------------------

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	全国一律事業であり、実施しないことがデメリットとなるため、制度を残していく。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	制度自体の縛りが厳しく、利用しにくい制度となっている。埼玉県へ条件の緩和など求めていきたい。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	1	【コメント】	
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	5	・国からの制度ということですが難しいかと思 います。	
2…事業内容見直し	1	5…事業拡大	0		
外部評価結果					
現状維持					

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	Ⓐ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	移住定住推進室

【基本情報】

事業名称	空き家利活用推進事業
------	------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	55	2	1	5	70	空き家利活用推進事業

事業期間	令和6年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,065	5,260	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	空き家の利活用				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 10	(目標値) 10	(目標値) 10	(目標値) 10	(目標値) 10
実績値	(実績値) 6	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	60.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	3	5	3	4
二次評価	5	4	5	3	4

事業の実施理由	全国的な問題となっている空き屋を減少させるため。空き家所有者には、空き家内に残る家財道具の処分費用や、不動産業者へ支払う仲介手数料の一部を補助することで空き家の流通を促し、空き家購入者に対しては、住家として必要な改修を行う費用の一部を補助することで、空き家の有効活用を図る。
---------	---

事業の概要	町内にある空き家の有効活用及び流通を図るため、空き家所有者に対する家財道具等処分費用や仲介手数料への一部補助や空き家利用者に対する改修費用への一部補助
-------	---

事業の課題	仲介手数料については、空き家がいくらで売れても一律10万円としている。高額で売れるような物件所有者に対しても補助する必要があるのか検討が必要だと感じる。また、町単独事業であり、財源の確保が課題である。
-------	--

今後の方針	空き家バンクへの登録軒数が増えていることもあり、空き家購入者が増えていることに伴い、空き家改修補助金への申請件数も増加しているため、事業を継続的に実施し、空き家の減少を図る。また、若者世帯マイホーム補助金など別補助事業とのバランスを考えて予算要求を検討していく。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	20	[コメント] 令和6年度から始めた事業であり、実績を積んでいる段階。令和7年度は空き家の流通及び利活用にも効果が見られている。補助率などは財源の面から見ても検討は必要。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)
------	----	---	---------------------------

【2次評価結果】

評価点計	21	[コメント] 空き家の利活用に効果が生まれている。小鹿野町にある900件の空き家を有効活用し、移住定住人口を増やすためにも有効な施策である。	今後の事業方針 0
------	----	---	--------------

【外部評価委員による意見】

	0	1	2	3	4	5	[コメント]
0…廃止の方がよい	0						
1…事業自体見直し	0						
2…事業内容見直し	0						
3…他事業と統合検討		2					
4…現状維持		0					
5…事業拡大		0	5				
外部評価結果							
現状維持							

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊶ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	移住定住推進室

【基本情報】

事業名称	若者世帯マイホーム取得促進事業
------	-----------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	56	02	01	05	97	若者世帯マイホーム取得促進事業

事業期間	令和6年度 ~ 令和11年度	事業終期	令和11年度
------	----------------	------	--------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	6,400	11,100	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	地域振興基金繰入金
-------	-----------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	奨励金交付件数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 10	(目標値) 13	(目標値) 15	(目標値) 15	(目標値) 15
実績値	(実績値) 14	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	140.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	4	4	5	4
二次評価	4	4	4	5	4

事業の実施理由	住宅取得に対する経済的支援により移住、定住者の増加を図る
---------	------------------------------

事業の概要	若者世帯が自ら居住する住宅を取得するにあたり、奨励金を交付する事業
-------	-----------------------------------

事業の課題	補助制度の認知度向上
-------	------------

今後の方針	効果検証しながら奨励金額の検討を行う。
-------	---------------------

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
21	奨励金の活用状況を見ながら、現状維持する。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
21	若者世帯の移住や定住に寄与している。このまま進めたい。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	2	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	4	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	移住定住推進室

【基本情報】

事業名称	定住促進事業
------	--------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	57	02	01	05	98	定住促進事業

事業期間	平成17年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	----------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	859	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	奨励金交付件数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 10	(目標値) 15	(目標値) 15	(目標値) 15	(目標値) 15
実績値	(実績値) 12	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	120.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	3	4	5	4
二次評価	4	4	4	5	4

事業の実施理由	転出抑制及び転入促進
---------	------------

事業の概要	移住者等の定住を促すため、家賃及び住宅取得に対する支援を行う事業
-------	----------------------------------

事業の課題	経年劣化した民間賃貸アパートが増加している。
-------	------------------------

今後の方針	奨励金の活用状況を見ながら現状維持する。
-------	----------------------

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
20	移住者は持ち家購入前に民間賃貸住宅を利用することから、移住促進施策としては欠かせなく、利用も一定数あるため、現状維持する。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
21	いきなり住宅の新築することが難しい世帯が、まず賃貸にというのは自然の流れであり、それを引き続き支援することにより、移住定住に繋げたい。この制度は2年縛りなので、その後、別の支援制度により若者の定住に繋げたい。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	1	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	6	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	建設課

【基本情報】

事業名称	空き家対策事業(老朽空家等解体補助金)
------	---------------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	90	04	01	03	50	空き家対策事業費

事業期間	令和7年度 ~ 令和10年度	事業終期	令和10年度
------	----------------	------	--------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	800	3,000	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標 (KPI)・実績値】

項目	令和10年度空き家率13.0%(空き家/町内全体建築数)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	0.1387	0.136	0.134	0.132	0.13
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	0.138	0.137			
達成率	99.5%	100.7%			

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	4	3	3	4
二次評価	5	3	3	2	4

事業の実施理由	令和5年度に空き家の実態調査を行い962件の空き家があることが判明した、その内明らかに危険な傾斜がある建物が33件あった。また、町内の住宅建築戸数6,986戸に対して、昭和56年以前に建築された住宅の戸数は4,124戸(内耐震性不十分3,523件)あるため、今後も解体をしたい所有者が増加する見込みがあるため。また、小鹿野町空家等対策計画を作成したため、令和7年度から5年間はこの計画に沿って事業を実施する。
---------	--

事業の概要	周辺の防災、衛生、景観等に悪影響を及ぼす可能性のある老朽空家等の除却を行う者に対し、老朽空家等の除却に要する経費の一部を予算の範囲内において補助することにより、老朽空家等の解消を図り、もって良好な生活環境の保全及び安全で安心なまちづくりの推進に寄与する。 今後、特定空家等を指定するためには協議会にかける必要があるためその経費 【必要経費】 老朽空家等解体補助金 3,000千円(1件30万円×10件分) 空家等対策協議会委員報酬 93千円(6600×7名×2回)
-------	---

事業の課題	解体費の補助については町単での補助となるため、町の負担が増加する。 現在は都市計画担当が兼務で事務を行っているが、年々相談件数が増えていることや最終的な行政代執行を視野に入れると空家等対策の推進に関する特別措置法の規定に基づいた事務処理を行わなければならないため、現在の町の体制及び建設課の担当が兼務で行うのは段々と厳しくなると思われる。
-------	--

今後の方針	令和7年度から本格的に補助事業を拡大し実施したことにより、更なる空き家の解体が進み、町内にある空き家の減少が図れているため、継続して事業を実施する。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
19	次年度以降の申請数を見ながら、必要性のある補助事業が実施出来るよう要綱や補助金額等の見直しを検討する	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	1棟の解体に平均200万円程度必要、補助金30万円は少ないと意見もある。 良好な生活環境の保全、防災、衛生、景観などから、空き家の解消はまちづくりに必要な施策であるため、補助上限額、適用範囲の見直しは必要である。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	【コメント】 ・補助金の再検討を希望する
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	3	
2...事業内容見直し	3	5...事業拡大	1	
外部評価結果				
事業の見直し (補助額の再検討と見直しを行う)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
補助率、限度額の見直しの検討。	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	R7実績は12件、予算全額を執行した。当面は現状の補助金額を維持する。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	建設課

【基本情報】

事業名称	民間住宅補助事業
------	----------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくとも輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	92	07	01	01	98	民間住宅補助事業費

事業期間	令和6年度 ~ 令和10年度	事業終期	令和10年度
------	----------------	------	--------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	125	125	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	125	125	0	0	0

補助事業名	社会資本整備総合交付金
-------	-------------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	5年で4件の耐震診断を実施				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 0	(目標値) 1	(目標値) 1	(目標値) 1	(目標値) 1
実績値	(実績値) 0	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率					

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	5	5	2	4
二次評価	5	1	2	2	4

事業の実施理由	地震による木造住宅の倒壊等の被害を防ぎ、地震に強い住宅を整備し、災害に強いまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震診断及び耐震改修にかかる費用を補助する。 旧耐震基準で建てられた住宅総数4124戸のうち耐震性が無いと想定される建物3523戸 (H25.3月時点)
---------	--

事業の概要	耐震診断補助金 対象事業費の1/2 (限度額5万円) 耐震改修補助金 対象事業費の1/2 (限度額20万) 【必要経費】 補助金 250千円 (1件分) /年
-------	---

事業の課題	・耐震改修の実費用に対し、補助金額が少ない。 ・多額の費用を要す耐震改修を躊躇しているため、耐震診断が実施できない。 ・秩父の地震に対する安心感から耐震に対し積極的ではなく耐震化の意識が低い。
-------	--

今後の方針	・国庫補助金の増額要請や、近隣市町村の動向をみながら、町の要綱や補助金の見直し、周知方法の見直しを行い意識を高める。 ・小鹿野町建築物耐震改修促進計画を見直し、改定を行う。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
21	町民の生命・財産を守るため、目標達成に向け事業を進めていく。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
14	本来所有者の責任において行わなければならないが、住民の安全を確保するために、町で所有者に耐震を促す必要がある。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	5	
2…事業内容見直し	1	5…事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	Ⓐ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	建設課

【基本情報】

事業名称	町営住宅管理費
------	---------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくとも輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	95	07	04	01	13	町営住宅管理費

事業期間	令和6年度 ～ 令和10年度	事業終期	令和10年度
------	----------------	------	--------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	4,681	2,840	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	6,400	0	0	0
その他	0	30,223	0	0	0
一般財源	24,235	0	0	0	0

補助事業名	社会資本整備総合交付金
-------	-------------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	令和10年度末までに入居率90%を目指す。				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 0.79	(目標値) 0.80	(目標値) 0.82	(目標値) 0.85	(目標値) 0.90
実績値	(実績値) 0.79	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	1	3	1	4
二次評価	5	2	2	5	5

施設の現状	平成7年に集約計画策定後、何もしていない。耐用年数が超過し、耐震性のない老朽化住宅が多く、景観を害している。若者が住みたいと思えるような住宅が少ない。
施設の設置目的	健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。
今後の整備計画	長寿命化計画を基に、解体可能な空き住宅は随時解体していく。長寿命化については、存続住宅は外壁改修などを行い、長寿命化していく。令和6年度から東腰団地を3年計画で外壁改修を行っている。建替については、2029年までに下三ツ橋団地の建替を始め、2030年以降には南町裏団地の建替、北町裏団地や宮田団地、和田団地の用途廃止(移転)を行っていく予定。
整備に向けた課題	今後、町営住宅の集約化に伴い住宅数を減らしていく中で、必要となってくる、移転に伴う手続き、費用負担について法令等の確認。入居者理解を得る、家賃検討、移転スケジュール策定、事業費の確保、建設計画の策定が課題。収入超過者の移転誘導。

【1次評価結果】

13	[コメント] 令和6年度に長寿命化計画を更新しており、住宅の集約化を長期的に行っていく予定。他自治体と比較して町営住宅の供給が過多であった状況が改善されていくと思われる。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)
----	--	---------------------------

【2次評価結果】

19	[コメント] 物価高騰が進み、低所得者の負担は大きい、このため、町営住宅の存在意義は大きい、老朽化した町営住宅は、住宅政策の欠点となっている。若者が住みたくなる住宅の供給を早急の実施すべきである。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)
----	---	---------------------------

【外部評価委員による意見】

	0	1	2	3	4	5	コメント
0...廃止の方がよい	0						古いものは取り壊し 古い住宅は解体し新築を何棟か建てたらよいかと思います。 独身者でも町営住宅が借りられるよう制度変更できないか検討をお願いします。町営住宅は同居者の存在(扶養対象者)が借りられる条件になっているが、年功序列賃金が崩壊した現在では、中年独身者であっても低賃金で生活し居住に不自由している方々が増加している。その多くは老朽化で耐震性・防火構造などの不安がある民間アパートに居住されています。そんな方々の転居の受け皿として活用できれば有効だと考える。
1...事業自体見直し	0						
2...事業内容見直し	2						
外部評価結果							
現状維持							

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	Ⓐ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	建設課

【基本情報】

事業名称	住宅用地整備事業
------	----------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくとも輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	96	07	04	02	01	住宅用地整備事業費

事業期間	令和7年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,346	300	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	令和8年度までに12区画整備				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	0	2	10	0	0
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	0				
達成率					

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	5	2	2	5
二次評価	4	2	2	5	5

事業の実施理由	少子高齢化や人口減少の問題から、旧長若中学校校庭及び清水崖団地跡地に良好な住宅用地を整備し定住促進を図る。
---------	---

事業の概要	少子高齢化や人口減少の問題から、旧長若中学校校庭及び清水崖団地跡地に良好な住宅用地を整備し定住促進を図る。 【必要経費】 復元測量費 3,000千円、土地鑑定費 500千円、工事費50,000千円
-------	--

事業の課題	長若中学校について、事業に反対する町民が一定数存在する。 今後の事業推進にあたり、新たな住宅用地の確保、用地購入費、事業費(財源の確保)、農振地域や用水受益地の対応などの課題がある。
-------	--

今後の方針	今後も、まちづくり観光課をはじめ関係各課と連携し事業を推進する。 立地適正化計画(令和7年度末策定予定)を基に、住宅政策の展開として新たな用地を模索する。
-------	--

【1次評価結果】

19	評価点計	[コメント]	今後の事業方針
		目標達成のため、事業を進めていく。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

18	評価点計	[コメント]	今後の事業方針
		人口減少問題に対応する施策のひとつとして、住宅政策は必要不可欠な事業であり、特に当町に民間事業者が参入しない事実をすれば、町で住宅用地の整備を実施しなければならない。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	【コメント】 ・地域住民と調整してもらいたい。 ・人口減少、高齢化問題対策にも有効な事業であるならば、周辺住民の理解は大切です。住民不安を精査しその解消に向け、事業推進をお願いします。
1...事業自体見直し	1	4...現状維持	2	
2...事業内容見直し	2	5...事業拡大	2	
外部評価結果 事業の見直し (周辺住民や地域との調整をしながら事業を進めていく)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
定住・移住のため優良住宅は確保しておく必要がある。	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	まちづくり観光課と連携し、住民との合意形成を図りながら慎重に計画を進める。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	こども課

【基本情報】

事業名称	つなごう！ウェルカム女性ハッピー・ターン事業
------	------------------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	22	02	01	05	73	つなごう！ウェルカム女性ハッピー・ターン事業

事業期間	令和6年度 ～ 令和10年度	事業終期	令和10年度
------	----------------	------	--------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	900	1,750	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	3月末時点の未就学児の子どもの数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	166	152	144	147	144
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	163				
達成率	98.2%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	3	2	4	4
二次評価	5	3	2	4	4

事業の実施理由	20代～30代の子どもを産み育てる世代の女性を増やし、子どもの数を増やすため。
---------	---

事業の概要	町外に住む若い女性に町民が町の魅力をPRし、安心して小鹿野町に転入することを促進し、さらに町内に住む女性の流出を減らすため、町民からの紹介により転入したものと紹介した町民双方に5万円の奨励金を交付する。転入する女性に配偶者又は子どもがいる場合は5万円の加算。
-------	---

事業の課題	特になし
-------	------

今後の方針	少子化対策として実績が出ていることから継続する。
-------	--------------------------

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
18	まだ始まって2年目であるが、若い世代の転入が目立ち、ハッピー・ターン事業を利用した世帯において子どもも増加していることから、今後も継続する。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
18	成果は出ている。継続して動向を見たい。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】 ・仕組みを工夫し、より強化してもらいたい
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	4	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	3	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	こども課

【基本情報】

事業名称	結婚新生活支援事業
------	-----------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	24	03	01	01	47	結婚新生活支援事業

事業期間	令和3年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	600	800	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	534	400	0	0	0

補助事業名	埼玉県少子化対策推進事業
-------	--------------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	結婚新生活支援事業申請件数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	2	3	3	4	5
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	3				
達成率	150.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	3	2	5	4
二次評価	5	3	2	5	3

事業の実施理由	若い世代が入居したいと思える賃貸住宅が少ない。
---------	-------------------------

事業の概要	新婚世帯に対して、住居費及び引っ越し費用の一部を補助。 39歳以下上限30万円 29歳以下上限60万円
-------	---

事業の課題	若い世代が入居したいと思える賃貸住宅が少ない。
-------	-------------------------

今後の方針	埼玉県と連携して実施しており、県から3分の2の補助もあるため継続したい。
-------	--------------------------------------

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
19	少子化に歯止めをかけるためには、子どもを産み育てる世代への支援が必要であるため、今後も継続する。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
18	一次評価者と同様	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	1	【コメント】
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	6	
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	① 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	こども課

【基本情報】

事業名称	出会いの場創設モデル事業
------	--------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	25	03	01	01	53	出会いの場創設モデル事業

事業期間	令和7年度 ～ 令和7年度	事業終期	令和7年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	180	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	申請件数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	—	3	0	0	0
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	—				
達成率					

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	3	2	1	3
二次評価	2	2	2	1	3

事業の実施理由	結婚への関心の向上や出会いの機会を創出。
---------	----------------------

事業の概要	町内で開催する出会いの場（同窓会等）に要する経費の一部補助。 補助額：企画費1万円＋参加者数×2千円（上限5万円）
-------	--

実施により見込まれる効果	結婚への関心の向上や出会いの機会を創出。
--------------	----------------------

実施による成果	なし
---------	----

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
11	今年度始めた事業であり、まだ実施件数がないため、今後の実施状況により検討が必要である。	C 来年度、改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
10	一次評価者と同様	C 来年度、改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	1	【コメント】	
1…事業自体見直し	1	4…現状維持	2	・PRしてください。 ・同窓会補助金5万円は魅力あり、宴会開催施設(町内旅館等)に周知したり、高校卒業時、二十歳の集いなどなるべく多くのPR機会を創出したい。最近では熟年離婚もある一方熟年結婚を希望する方も増加していると思う。こども課の担当範囲ではないと思うが、何らかの施策が打てないか。	
2…事業内容見直し	3	5…事業拡大	0		
外部評価結果					
事業の見直し (地域との協力と幅広くPR出来るようにしていく)					

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	生涯学習課

【基本情報】

事業名称	二十歳の集い開催費
------	-----------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	112	09	04	01	19	二十歳の集い開催費

事業期間	令和2年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	295	305	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	二十歳の集いの出席率を80%以上にする。				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 0.8	(目標値) 0.8	(目標値) 0.8	(目標値) 0.8	(目標値) 0.8
実績値	(実績値) 0.83	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	103.8%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	3	2	4	4
二次評価	5	3	2	4	4

事業の実施理由	二十歳を迎える若者達の前途を祝福するために式典を実施する。
---------	-------------------------------

事業の概要	二十歳の集い(式典)対象者から協力者を募り、式典の内容や記念品等について検討・選定を行う。 【必要経費】 式典の開催通知(通信運搬費)及び記念品製作費
-------	---

事業の課題	小鹿野町二十歳の集い対象の減少。
-------	------------------

今後の方針	二十歳の集い対象者の協力者による二十歳の集い実行委員の募集及び委員会の開催。(該当年度8月から毎月1回の実行委員会の開催を行う。)
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	生まれ育った町に関心を持つよう今後も実施していく必要がある。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
18	二十歳の門出を祝い行事として継続していく必要がある。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	[コメント]
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	7	・二十歳の集いの際、出会い、結婚、子育て、住宅取得など、将来のライフワークに沿った町の補助金制度をまとめたパンフ等を配布できないか。
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	生涯学習課

【基本情報】

事業名称	結婚相談委員活動費
------	-----------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	120	09	04	02	27	結婚相談委員活動費

事業期間	令和2年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	214	327	0	0	0

補助事業名	結婚相談員活動費補助金
-------	-------------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	女性の参加者を5人以上にする。				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 5	(目標値) 5	(目標値) 5	(目標値) 5	(目標値) 5
実績値	(実績値) 0	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	0.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	2	2	2	3
二次評価	5	5	2	2	4

事業の実施理由	結婚を希望する町民へ異性との交流の場を提供する事で、異性との関わり方やイベントでの立ち回り、関係性の築き方を体験することにより、今後の結婚に対する意欲の向上に繋げるため。また、少子化対策事業として実施する。
---------	---

事業の概要	結婚相談委員会 交流会イベントを年2回開催する。 【必要経費】 イベント開催費(消耗品・借用費)、イベント1回につき150千円。相談員交通費(相談室、定例会、イベント、1回につき1千円)
-------	---

事業の課題	イベント参加者は、異性との関わりが少なく消極的であり、一部を除いて、自身から進んで異性との関わりを持とうとしない。そのため、相談員による助言や後押しが必要になる。また、女性の集客が困難である。
-------	--

今後の方針	イベント参加者への特別相談室や講習会の開設。イベント時に参加者個別の助言、サポートを実施。相談員による個別マッチングを実施。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	12	[コメント] 次年度以降活動を通じて、結婚を希望する町民に出会いの場の提供を行うと共に事業の改善・見直しを図る。	今後の事業方針 B 改善・見直しを求める
------	----	---	-------------------------

【2次評価結果】

評価点計	18	[コメント] 若者の定住を推進する意味でもこのような取り組みは必要である。どんどん少なくなる若者に出会いの場を提供していきたい。業務の担当部署については町長部局が望ましいと思う。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)
------	----	--	---------------------------

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	1	【コメント】 ・女性が少なく、消極的な男性を今まで通りの方法で行うのはかなり困難だと思う。男性の意識向上でレベルを上げる事にもさらに強化。 ・珍しいイベントをすると人が集まりそう。(おいしいものを食べにいくとか) ・町内に働ける場が少なく、若者流出に歯止めがかからない現状としては、町内に留まる対象世代人口が少なく、成果につなげる出会いの場づくりは難しいと思う。委員の皆様のご苦労がしのべれます。 担当部署を変えたら、若者メンバーも加え、若者ニーズを具現化できる体制づくりを望みます。また近隣郡市とのコラボも検討してほしい 結婚相談委員会主催●●と銘打ったイベントは(目的がナマナマしすぎて)参加しづらいとも聞いたことがありますので、組織やイベントの名称にも工夫いただければありがたいと思います。 ・R6は実績ゼロ?
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	1	
2...事業内容見直し	4	5...事業拡大	1	
外部評価結果 事業の見直し (現状成果を再検証し新たなイベント企画を含め若者ニーズを具現化できる体制づくり)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
結婚を支援するコンサルタントの助言が必要ではないか。	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	男性の婚活スキルアップの講習会を検討中(R6実施済み) イベント参加者や声かけを行った方から「婚活」とイベント名にあると参加しにくいという意見や消極的な男性が多い点から、「交流会」に名称を変えイベントを実施中 令和6年度は女性参加者が集まらず中止となった。女性参加者については、町外からの参加も可能なため、コンビニエンスストア等にイベントチラシの掲示をしたところ、今年度のイベントでは参加者が増えたため、今後も実施予定。 主催については、相談委員と協議し名称の変更を検討する。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	総務課

【基本情報】

事業名称	ふるさと納税クレジットカード納付手数料
------	---------------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	01	02	01	01	17	行政共通事務費

事業期間	令和元年度 ～ 令和10年度	事業終期	令和10年度
------	----------------	------	--------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	40	24	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	ふるさと納税寄附金額(千円)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	30,000	150,000	150,000	150,000	150,000
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	265,776	84,210			
達成率	885.9%	56.1%			

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	3	4	1	4
二次評価	2	3	4	1	4

事業の実施理由	ふるさとチョイスでクレジットカード決済をする方がいるため。
---------	-------------------------------

事業の概要	ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」でクレジットカード決済をして寄附した方の納付手数料
-------	--

事業の課題	ふるさと納税をクレジットカード決済で行いたい方の寄附を集めることができる。
-------	---------------------------------------

今後の方針	現状どおり寄附者にふるさとチョイスでクレジットカード決済を行ってもらえるようにする。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
14	ふるさとチョイスでのクレジットカード決済は必要不可欠なので現状維持したい。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
14	町の財源確保のため、ふるさと納税を効果的に推進するには、カード決済手数料は必要であると考える。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	コメント ・PRを強化してほしい。SNS等利用など。 ・カードの人だけのものは？ ・総務省の規定に抵触しないか？
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	5	
2…事業内容見直し	2	5…事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	総合政策課

【基本情報】

事業名称	おがの地域ネットワーク事業
------	---------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	06	02	01	05	10	おがの地域ネットワーク事業費

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	104	590	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	【延べ人数】(各団体の交流イベントに積極的に取り組むメンバー数+そこに参加する他団体のメンバー数)×7団体 ※事務局主催の場合含む				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	0	400	450	500	550
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	0	0			
達成率	0.0%	0.0%			

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	1	5	3	4	3
二次評価	3	5	3	4	4

事業の実施理由	地域団体からの要請により、団体間の交流を促進するための地域ネットワークを組織した。各団体の持続・発展を支援し、町全体の視点で各活動の価値を再定義していくとともに、一般町民にとっての郷土愛や主体者意識の醸成にも寄与する。	
事業の概要	地域の観光団体7団体の交流活動を推進する 【必要経費】 報酬費 220千円 委託料 210千円(ネットワーク団体大学生受入委託) バス借上料 150千円	
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・団体によって、モチベーションや自主性に格差がある。 ・一般町民に、各団体の活動を始め町全体の魅力が認知されていない。 ・観光業をはじめとする町内事業者、情報発信者などと、各団体や地域ネットワーク事務局との接点が少ない。 	
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会などによる意識向上 ・各団体の活動や背景にある想いの町内外への発信 ・団体間の交流促進に加え、大学生や町内の事業者との交流の場も積極的に設けていく 	

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
16	次年度以降活動を通じて、町民に対して必要性のある活動が実施出来るよう改善していく	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
19	町全体の「自治力」を高め、住民の自治意識の高いまちを目指す方針からも「地域ネットワーク」の活動を支援することは意義があるため、事業は継続すべきであるが今後町としてどのような支援をするべきなのかについては検討し工夫と改善は必要。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】 ・今後の展開を楽しみに期待している
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	6	
2…事業内容見直し	1	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	総合政策課

【基本情報】

事業名称	企業版ふるさと納税推進事業
------	---------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	09	02	01	05	16	企業版ふるさと納税推進事業

事業期間	令和6年度 ~ 令和11年	事業終期	令和11年
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	259	500	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	企業版ふるさと納税委託料				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 400	(目標値) 500	(目標値) 600	(目標値) 700	(目標値) 800
実績値	(実績値) 259	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	64.8%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	3	2	3	5
二次評価	5	3	3	5	5

事業の実施理由	町が行う地方創生に資する取組に対して、さまざまな企業から寄附を集めることによって、一般財源の負担を減らすための財源を確保することができます。 また、寄附をした企業にも社会貢献のPRができるとともに、最大9割の法人関係税の税額控除を受けるメリットがあります。
---------	---

事業の概要	企業からの寄附額に応じて、業務委託している仲介業者に委託料を支払う。 (仲介業者) 株式会社ジチタイリンク(20%手数料) 株式会社エージェント(15%手数料) 武蔵野銀行(10%手数料) 【必要経費】 委託料 500,000円
-------	--

事業の課題	仲介業者の委託料は会社によってばらつきがあり、小鹿野町では3社と契約しているが、寄附額の10%~20%を成果報酬として支払っている。 仲介業者の集客力を見極め、見合った成果報酬であるかをよく精査をする必要がある。
-------	---

今後の方針	年間の寄附額がほぼ毎年100万円以下であり、事業に充てるには微々たるものである。今後は多くの寄附をしていただけるように掲載するパンフレット等を工夫し、寄附をする企業側が魅力に思ってもらえるようにPRをしていく。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
18	寄附受入額を増やすためにも、企業がどのような事業に対して寄附を希望しているかニーズを把握する必要があるため、業務委託している企業と連携を取りながら取り組む。	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
21	寄付の手数料は出来高によるので、業者への委託料は継続する必要がある。財政も厳しく、今よりもさらに収入を増やせるよう企業へのアピール方法を検討し、さらに多額の寄がいただけるよう工夫する必要がある。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	【コメント】 ・仕方ないのかも知れないが、成功報酬等が高額。役場に直接持ち込みなどの条件で優遇策はできないか？それに特化してもどうか。
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	3	
2...事業内容見直し	3	5...事業拡大	1	
外部評価結果				
事業の見直し (町独自の方法を検討するなどの見直しを行う)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
町長のトップセールスの実施。	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	令和8年度に町で実施する事業(特に新規事業)の中から企業とマッチングしやすい事業を選定し、企業側から寄付をしたくなるようなPRチラシを作成し、企業版ふるさと納税の働きかけを行う。 まずは、秩父郡市内の企業を中心に町長によるトップセールスを実施する。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	住民生活課

【基本情報】

事業名称	ふるさと住民登録事業
------	------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくとも輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	17	02	01	05	72	ふるさと住民登録事業

事業期間	令和6年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和7年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	241	518	600	600	600

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	カード利用者数をふるさと納税者の1割とする。				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 13	(目標値) 407	(目標値) 350	(目標値) 350	(目標値) 350
実績値	(実績値) 9	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	69.2%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	3	1	3	3
二次評価	4	2	1	3	3

事業の実施理由	住民生活課において事業を実施しているため、特典の追加をする業務には限界があるため、事業課において対応する必要がある。また、現在カードの発行によりふるさと納税者へ案内しているが、スマートフォンのアプリにより特典を利用できるようにできるか検討も必要。
---------	---

事業の概要	町へふるさと納税をした人に対して、後日「小鹿野町ふるさと住民カード」を送付し、小鹿野町へ来町していただき、関係人口の創出する。 【必要経費】 カード印刷・封筒代115千円、郵送料385千円、デザイン作成費18千円
-------	--

事業の課題	住民生活課において事業を実施しているため、特典の追加をする業務には限界があるため、事業課において対応する必要がある。また、現在カードの発行によりふるさと納税者へ案内しているが、スマートフォンのアプリにより特典を利用できるようにできるか検討も必要。
-------	---

今後の方針	住民生活課において事業を実施しているが、当課の業務は窓口が主体であるため、今後は事業の移管が必要であるとする。また、ふるさと納税者が対象であるので、事業の財源としてふるさと納税を活用できるか検討。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	14	[コメント] 事業については今後も実施したほうがよいと考えるが、住民生活課で実施するのは限界があると感じている。今後、特典を増加させて事業の魅力高めるためには、担当課の見直しが必要である。	今後の事業方針 C 来年度、改善・見直しを求める
------	----	---	-----------------------------

【2次評価結果】

評価点計	13	[コメント] 事業の事務移管により、より効率的に運営できると考えられる。	今後の事業方針 C 来年度、改善・見直しを求める
------	----	---	-----------------------------

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	2	【コメント】 ・カードを持つ価値があるのか？価値向上につとめていただきたい。 ・来町したい気持ちが高まるような特典があったらよいのではないか。(小鹿野町内観光地めぐり一日バスツアー、お祭り招待、両神山登山ガイド、町内ハイキングコースガイド、薬師の湯、国民宿舎利用券、わらじカツ割引券など)
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	1	
2…事業内容見直し	3	5…事業拡大	1	
外部評価結果 事業の見直し (カード利用の特典の見直し)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
民間事業者の募集を拡充し、ふるさと住民の特典を強化(増加)させる。	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	今までの実績及び費用対効果を勘案し、また国において「ふるさと住民登録制度」が創設されることから、町としての単独での事業は廃止する。なお、今後の事業については事業の内容からまちづくり観光課へ移管する。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	総合政策課

【基本情報】

事業名称	関係人口創出推進事業費
------	-------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	54	02	01	05	65	関係人口創出推進事業費

事業期間	令和2年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	77	110	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	都市部との交流人口の増加				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 70	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100
実績値	(実績値) 50	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	71.4%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	2	2	4	3
二次評価	3	3	3	3	3

事業の実施理由	人口減少対策の一環として、港区など都市部との交流を通じて、関係人口の増加を図り、町への興味を持ってもらうことで、二地域居住者や定住者の増加を図る。
---------	---

事業の概要	二地域居住人口等の創出の前段となる関係人口の創出を図る
-------	-----------------------------

事業の課題	行政側及び地域の受け入れ体制が不十分であること
-------	-------------------------

今後の方針	特定地域づくり協同組合が旅行業を行えることから、尾ノ内氷柱やダリア園など観光資源を都市部との交流事業に絡めることやワーキングホリデーなどについても検討していく。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
14	令和7年度予算は、特に何を実施するかを決めていない状況であるため、都市部の住民が来ることで町内地域や企業に良い影響を与えられるような事業を計画する。	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
15	令和7年度予算は、特に何を実施するかを決めていない状況であるため、都市部の住民が来ることで町内地域や企業に良い影響を与えられるような事業を計画する。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	1	[コメント]
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	3	・強化すべき点であるが、実施内容を決めてから提案した方がいいか。 ・施策実行と成果が直結してみえないため、取り組みとして大変難しいものがあると考え。 小鹿野町出身で現在は他の自治体に住んでいる方々へのアプローチはどうか？移住にはつながらないが二地域居住、関係人口創出にはつながる可能性がある。 盆や正月といった帰省や生家訪問などの時期にあわせて、目に止まるようなパンフを広報にはさむ、または載せるなど。
2…事業内容見直し	3	5…事業拡大	0	
外部評価結果 事業の見直し (明確な目的やターゲットを定めて事業実施に繋げる)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	A 事業継続 ⓑ 事業の見直し C 事業廃止	・国制度を活用し、町の事業者や町民と長期的に関わる仕組みを構築し、関係人口創出を図ります。 ・事業実施にあたっては、実施の目的やターゲットを再考し、成果指標を設定した上で取り組んで参ります。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	総合政策課

【基本情報】

事業名称	地域情報化支援事業
------	-----------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	10	02	01	05	32	地域情報化支援事業

事業期間	令和7年度 ~ 令和12年度	事業終期	令和12年度
------	----------------	------	--------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	980	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標 (KPI) ・実績値】

項目	スマホ教室等への参加者数(人)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	27	160	240	330	330
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	57				
達成率	211.1%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	2	2	3	3
二次評価	3	1	2	0	3

事業の実施理由	社会全体のDXに向け、地域における情報活用を推進する、地域での活動団体を支援する。
---------	---

事業の概要	社会全体のDXに向け、地域における情報活用を推進する団体の支援を行う。情報活用の推進により、より便利な生活や活発な事業活動の実現を通じ、地域活性化を図る。
-------	---

実施により見込まれる効果	支援を行う団体の活動実態等が補助すべき活動であるかの見定め 補助対象団体の拡大
--------------	--

実施による成果	本年が補助初年度になるため、活動実績等をしっかりと精査し、次年度以降の補助規定や制度自体の見直しが必要であるかどうかを総合的に判断する。
---------	--

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
14	本年度及び次年度以降の補助対象者の活動を通じて、町民に対して必要性のある補助事業であるかを判断していく	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
9	補助対象事業者における活動実績が想定に足りておらず、補助対象事業の見直し又は補助対象事業者の拡大・補助対象事業者の活動にあたっての工夫が求められる 地域のニーズが無いのであれば、事業廃止も検討	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

	1	3…他事業と統合検討	1	【コメント】
0…廃止した方がよい				
1…事業自体見直し	1	4…現状維持	0	
2…事業内容見直し	3	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
事業の見直し (地域のニーズを精査し目的を明確にし、他事業との統合含め見直し)				

※委員1名未評価

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	事業の成果を勘案し、予算規模を縮小しつつ継続とする。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	フィルムコミッション事業
------	--------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	59-1	6	01	3	11	観光総務費

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	16,050	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	フィルムコミッション事業による撮影実績数(空き公共施設の利用に限る)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 10	(目標値) 10	(目標値) 10	(目標値) 10	(目標値) 10
実績値	(実績値) 10	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	4	4	4	3
二次評価	4	4	4	5	3

事業の実施理由	町固有の施設、特に推薦したい内容に重点を置いて掲載するなどの自由度がある。また、自前のホームページを所有することになるため、広域で県などが展開するページよりも自由度が高いため具体性が有りわかりやすくできている。よって、本ホームページ経由での問合せがほぼ10割であるため継続している。
---------	---

事業の概要	町観光資源や空き公共施設を活用し、ロケーションを提供・案内するサービスを実施するためにホームページを単独で持ち、案内をしている。
-------	--

事業の課題	16050円で十分に広告宣伝できており、役割を果たしていると考えており、課題はない。
-------	--

今後の方針	空き公共施設の利用状況変化などがあつた場合はタイムリーに更新し、現況と不一致な情報を掲載しないように留意する。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
19	空き公共施設と絡めて主に事業を実施している背景があり、歳入を生まないはずだった廃校から少しの歳入が生まれ、維持管理費の財源の一部になっている。しかし、年々利用率が減っており、廃校については新しい利活用を検討する必要がある。町の自然資源などの案内もあるため、ホームページは残し、新しいロケーション情報など掲載していきたい。	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
20	全国的に空き公共施設が増えたことから、撮影の需要が減っていると感じている。地域の活性化、雇用の確保等を鑑み、施設の企業誘致のため公募していきたい。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	1	3…他事業と統合検討	0	【コメント】
1…事業自体見直し	2	4…現状維持	3	・強化すべきポイントです。どんどん拡散して、その使用した実績、場所等を(できる範囲で)PRして町の資源に作りあげ育てるべきです。 ・リモートワークが普及した現代では、職場の立地にあまりこだわらない業態の企業もあると思う。企業誘致できれば町の活性化につながるの期待したい。
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	1	
外部評価結果 事業の見直し (実績をさらにPRしながらも、新たな起業に繋げるようにする)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	当町におけるフィルムコミッションは、空き公共施設で活用などが進まない廃校などを軸に、テレビCMや映画、ミュージックビデオの撮影などに使用していただくことで活用を推進し、活かしている施設として健全に管理するために実施している。また、副産物として使用料も徴収可。引き続きそのような形で実施。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	まちづくり観光課

【基本情報】

事業名称	オートバイによるまちおこし事業
------	-----------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	59-2	06	01	03	11	観光施設整備工事請負費

事業期間	令和7年度 ~ 令和7年度	事業終期	令和7年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	SNS等での露出件数50件以上				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 0	(目標値) 30	(目標値) 50	(目標値) 50	(目標値) 50
実績値	(実績値) 0	(実績値) 0	(実績値) 0	(実績値) 0	(実績値) 0
達成率	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	5	2	1	3
二次評価	5	4	3	3	3

事業の実施理由	上記の効果を狙える最適な設置場所が見つかっていない。 小鹿神社・観光交流館駐車場⇒砂利のためNG 般若の丘公園駐車場⇒SNSで拡散されるような景観でない ダリア園・尾ノ内⇒季節限定
---------	---

事業の概要	オートバイによるまちおこしのロゴモニュメントを設置する。
-------	------------------------------

事業の課題	上記の効果を狙える最適な設置場所が見つかっていない。 小鹿神社・観光交流館駐車場⇒砂利のためNG 般若の丘公園駐車場⇒SNSで拡散されるような景観でない ダリア園・尾ノ内⇒季節限定
-------	---

今後の方針	ウエルカムライダーズおがのと協議し、設置箇所を検討していく。
-------	--------------------------------

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
16	令和7年度中に設置する。	D 事業廃止

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
18	伊香保のようにバイクによるSNS映えスポットが欲しい。	D 事業廃止

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	1	3…他事業と統合検討	0	[コメント]
1…事業自体見直し	1	4…現状維持	3	・町が事業廃止と考えているため。 ・バイカーはバイクで小鹿野観光したあと、結婚し子供ができると家族連れの車でふたたび観光に来る確率が高い。ウエルカムライダーズとの意見交換により、現時点でのSNS映え最適地を決め、早期に実現してほしい。小鹿野町がバイクに優しい街であることはかなり知れ渡っており、熊谷や羽生あたりの友人との話題にのぼる。バイク安全運転講習会開催とか、免許がなくてもバイク運転体験ができる施設(空きランド活用)などあれば行きたいと聞いたことがある。モトクロスコースもあればいいなという話も聞く。 ・般若の丘公園の景観はSNS拡散にはどのように向かないのか。
2…事業内容見直し	2	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
事業の見直し (関係団体との連携によりさらなる情報の発信を図る)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
オートバイによるまちおこし事業は積極的に推進すべき。 (必要があれば、バイク駐輪場の整備を進める)	① 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	令和7年度バイカーの写真撮影のスポットをつくり、SNS等での発信を期待し般若の丘敷地内にモニュメントを設置する予定である。駐輪場については、必要性、敷地確保の可能性を含め検討する。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	総合政策課

【基本情報】

事業名称	シティプロモーション推進事業
------	----------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくとも輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	125	02	01	05	80	シティプロモーション推進事業

事業期間	令和6年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	5,000	25,000	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	地域振興基金繰入金
-------	-----------

【評価指標 (KPI) ・実績値】

項目	町民編集部運営のSNSへの参加者数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	-	75	125	170	200
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	-	14			
達成率		18.7%			

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	2	3	2	5
二次評価	4	5	2	-	5

事業の実施理由	地域活性化を実現するための町外からの資源獲得
---------	------------------------

事業の概要	町の持続可能な発展のため、町外からのヒト・モノ・金・情報といった資源の取り込みを通じた地域活性化が必要不可欠であることを踏まえ、これを実現するためのシティプロモーションのための情報発信体制の構築及び運用を行う。
-------	---

事業の課題	町の豊かな自然、産品、コミュニティについて町外への発信体制・媒体が希薄であり、町外からの資源獲得につながっていない。官民が一体化し横断的な情報の発信基盤を確立させていかなければならない。
-------	---

今後の方針	昨年度から構築を開始して、令和7年度秋には関連サイトのお披露目となるが発信母体となる町民編集部の活性化と継続、また、第2第3の発信情報に関するイベント等を効率的に実施し、小鹿野町の認知度アップにつなげる。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
16	町の情報発信の柱となるべきものであり、発信母体の活性化に務めるべき。ローンチ後は新たな企画等によりメディア等を効果的に活用する必要もある。	B 改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
14	地域における人口減少・産業の空洞化が進む中で、如何にして外部から資源を調達するかという面で有効な手段の1つとなりうるが、相手が人である以上、手法を常に見直ししながら、設定したターゲットへのアプローチを改善していくべき。また、本事業に掲載するコンテンツ作成については本事業の範疇ではないが、住民に対する働きかけやよりよい資源の造成等、町としてサポートが必要だと考える。	B 改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	2	[コメント]
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	1	・ちちぶFMに小鹿野紹介コーナー(たとえば「おがニャピーおしゃべりコーナー とか…」)を設定してもらい、定期的に小鹿野の話題を発信してもらう。 職員・町民が積極的に出演してもらい、近隣の郡市内ばかりでなく、町内住民の話題ともなり、町の施策PRにも効果があるのではないかと。
2…事業内容見直し	4	5…事業拡大	0	
外部評価結果 事業の見直し (伝えたいターゲットを明確にし町民とともに情報発信できるよう進めていく)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
小鹿野の情報をタイムリーに発信していくことが大切。(情報の鮮度)	① 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	構築から、運用に形態が変化する初年度。構築事業者への運用管理委託を想定し、予算を確保する。一般協力者である編集部員からの企画を実現するための金額を含めた管理委託費と、対外的な現地対応を想定した旅費も新設確保

評価年度	令和 7 年度
担当課所	総務課

【基本情報】

事業名称	コミュニティ活動推進費
------	-------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	03	02	01	8	19	コミュニティ協議会推進費

事業期間	令和元年度 ～ 令和10年度	事業終期	令和10年度
------	----------------	------	--------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	526	523	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	コミュニティ備品の貸し出し件数(日毎)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	400	400	400	400	400
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	394	141	0	0	0
達成率	98.5%	35.3%			

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	2	2	1	3
二次評価	2	3	2	1	3

事業の実施理由	町内各地域におけるコミュニティづくりの推進を図るため。
---------	-----------------------------

事業の概要	「地域組織育成事業補助金」を交付して各地域コミュニティ委員会への助。行政区等のコミュニティ組織等が事業主体となって行う「花いっぱい運動」等に対する支援。地域コミュニティ活動を推進するため、「コミュニティ備品の貸し出し」。
-------	--

事業の課題	各地域のコミュニティ活動の継続及び活性化すること。
-------	---------------------------

今後の方針	現在の活動を継続して行う。
-------	---------------

【1次評価結果】

評価点計		
10	[コメント] コミュニティ協議会の活動は、町内のコミュニティづくりには必要であり、小鹿野町コミュニティ協議会で協議した内容のため、現状維持としたい。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計		
11	[コメント] 少子高齢化の進捗から地域での様々な事業が中止・廃止されてきている。地域毎にコミュニティ委員会を組織、地域独自の活動を進める中で、引き続き地域コミュニティの充実を図って行きたい。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止した方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	6	
2…事業内容見直し	1	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	総務課

【基本情報】

事業名称	地域の「やる気・アイデア」応援事業
------	-------------------

基本目標	① 人口減少にまけない 小さくても輝き続けるまち
------	--------------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	04	02	01	08	20	地域の「やる気・アイデア」応援事業

事業期間	平成29年度 ～ 令和7年度	事業終期	令和7年度
------	----------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	30	20	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	実施事業団体を2団体以上とする。				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 2	(目標値) 2	(目標値) 2	(目標値) 2	(目標値) 2
実績値	(実績値) 0	(実績値) 0	(実績値) 0	(実績値) 0	(実績値) 0
達成率	0.0%	0.0%			

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	1	1	1	2	1
二次評価	1	1	1	2	1

事業の実施理由	令和元年度以降、実施団体がいない。「新たな事業、若しくは従来からの事業を拡大して実施する事業」という対象事業のハードルが高い。
---------	---

事業の概要	行政区等が実施する新たな事業、若しくは従来からの事業を拡大して実施する事業で、町の活性化及び人口減少の抑止につながる活動に対し補助金を交付する。 【補助額】 補助対象経費の2分の1とし、10万円を限度。最長3年間。
-------	--

事業の課題	令和元年度以降、実施団体がいない。「新たな事業、若しくは従来からの事業を拡大して実施する事業」という対象事業のハードルが高い。
-------	---

今後の方針	要綱の見直しや実施事業の広報を行っていく。
-------	-----------------------

【1次評価結果】

評価点計	6	[コメント] ニーズが不明確で緊急性もないため、廃止とする。	今後の事業方針 D 事業廃止
------	---	-----------------------------------	-------------------

【2次評価結果】

評価点計	6	[コメント] 広報などに補助制度の内容をPRしても、ここ数年は、補助の申請がない。事業実施の目的には必要性を感じるが、申請や希望が無いことから廃止する必要性を感じている。	今後の事業方針 D 事業廃止
------	---	--	-------------------

【外部評価委員による意見】

0…廃止した方がよい	4	3…他事業と統合検討	0	【コメント】 ・町が事業廃止といているため。 ・必要性を強く感じるため、若者世代、現役世代を中心にPRを強化し、掘り起こしされることを期待します。
1…事業自体見直し	2	4…現状維持	1	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
廃止した方がよい				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	